

各 位

会社名 株式会社西武ホールディングス  
 代表者 取締役社長 後藤 高志  
 (コード番号：9024 東証一部)  
 問合せ先 広報部長 川上 清人  
 (TEL.03-6709-3112)

チャバコ  
**昭和のノスタルジックな「おとぎ電車」のデザインを施した「Chabacco」**  
**西武園ゆうえんち駅で 11月2日（火）より販売開始（西武線沿線第三弾）**  
 ～西武線沿線での発売から1カ月強、累計販売数9,000個突破～

当社は、2021年5月にリニューアルオープンした昭和の熱気あふれる「西武園ゆうえんち」の玄関口となる、西武鉄道山口線 西武園ゆうえんち駅において、1950年から1984年まで多摩湖の畔を、蓄電池を動力として走っていた「おとぎ電車」のデザインを施した2種類の「Chabacco」の販売を2021年11月2日（火）より開始します。



西武園ゆうえんち駅 デザイン A



西武園ゆうえんち駅 デザイン B

(西武鉄道株式会社商品化許諾済)

「Chabacco（チャバコ）」は、タバコを模した箱に、お茶の粉末スティックを入れた商品で、使用されなくなったタバコの自動販売機を利活用し販売しています。2021年9月1日より、西武鉄道の所沢駅と本川越駅で、日本三大銘茶である「狭山茶」を使用したChabaccoの販売を開始しました。累計販売数が9,000個を突破し、沿線内外のお客さまから大変ご好評をいただいております。

西武線沿線で3か所目となる今回は、「西武園ゆうえんち」のリニューアルのコンセプト「心あたたまる幸福感に包まれる世界」をベースとして、懐かしさと新鮮さを表現するため、当時の遊戯物のひとつで、その表情からノスタルジックな気持ちにさせる「おとぎ電車」を中心に据えたパッケージにしました。この「おとぎ電車」は、1950年に蓄電池機関車と客車を使い、多摩湖ホテル前～上堰堤駅間（後にユネスコ村駅まで延伸）で運行を開始しました。1952年には遊戯物から地方鉄道に転換し、路線名称も山口線に変更しました。その後新交通システムとなった山口線は、現在、多摩湖～西武球場前駅間を運行しております。



1951（昭和26）年の延伸で、多摩湖ホテル前～ユネスコ村駅間を走った「おとぎ電車」

## 1. 西武園ゆうえんち駅での Chabacco の販売について

- (1) 販売開始日時：11月2日（火）12時00分
- (2) 販売場所：山口線 西武園ゆうえんち駅（改札外）
- (3) 価格：1箱600円（税込み）（1箱に8本の粉末茶スティック内包）
- (4) お客さまからの Chabacco についての問合せ 株式会社 クラフト・ティー：<https://crafttea.co.jp/>

## 2. 当社グループが Chabacco に取り組む意義

近年、喫煙者の減少にともない、全国に設置されているタバコの自動販売機も減少しており、2019年には約2万台<sup>※1</sup>のタバコの自動販売機が廃棄されています。そのようななか、当社グループでは、「ロス」だと思われていたものを、価値に変える「LOSS TO VALUE」プロジェクト (<http://loss-value.com/>) を推進しています。この Chabacco も同プロジェクトの一環として、2020年12月10日より、当社グループの伊豆箱根鉄道の3駅（三島駅・伊豆長岡駅・修善寺駅）において、その後西武線沿線において、販売を開始し、地域の魅力をこの Chabacco を通じて発信することで、沿線の活性化を図っています。



※1 「たばこの自動販売機の年間廃棄台数」日本自動販売システム機械工業会により出典。

<URL> <https://www.jvma.or.jp/information/fukyu2019.pdf>（2018年と2019年の普及台数の差より算出）

【ニュースリリース】 [2020年12月 伊豆箱根鉄道（三島駅・伊豆長岡駅・修善寺駅）で販売開始](#)

【ニュースリリース】 [2021年8月 西武鉄道（所沢駅・本川越駅）で販売開始](#)

### 当社グループでの Chabacco 展開の背景・経緯

当社グループの新規事業創造のための専門部署「西武ラボ」による、オープンイノベーションによる新規事業創出の場、「SWING OPEN」から誕生。狭山茶の産地、所沢で育ち、日頃から若い世代のお茶離れを危惧していた、西武ラボ担当者のお茶に対する強い思いから、プロジェクトが本格化。2020年12月に伊豆箱根鉄道3駅で静岡茶を使用して試験的に販売を開始。その経験と手ごたえのもと、2021年9月には地元生産者との連携により、西武線沿線での狭山茶を使用した販売につなげ、現在、さらなる沿線内販売拡大に向け、プロジェクトを推進中。




















### 西武ラボ担当者のコメント

「幼少のころから狭山茶の茶畑に囲まれて育ちました。ふんわりと鼻先をかすめる上品な薫りを子どもながらに感じていたことを、大人になった今でも覚えています。狭山茶の生産者として数々の受賞歴を有する新井園本店さまに共感いただき、同社と共に、西武線沿線で地元狭山茶を使用した Chabacco の販売を実現することができました。引き続き、西武グループ鉄道全駅での Chabacco 設置を夢に、プロジェクトを力強く進めていきたいと思っております。」

### 3. 西武グループ サステナビリティアクションについて

当社グループでは、グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として積極的に推進しており、また当社では社会課題・当社の事業環境等をふまえて当社が特に取り組むべき4領域（安全、環境、社会、会社文化）、12のアジェンダ（重要テーマ）を設定し、アジェンダに沿った取り組みを積極的に進めております。今後も当社グループとしての強みを活かし、「Chabacco」のような、お客さま・地域・事業者の方が「三方よし」となるような事業を展開してまいります。

#### ＜西武グループ サステナビリティアクション アジェンダ＞

領域	アジェンダ	貢献するSDG s
安全	安全安心	   
環境	温室効果ガス削減	     
	廃棄物削減	
	水資源の確保	
	森林や生物保護	
社会	沿線・周辺自治体活性化	   
	ユニバーサルデザイン対応	
	少子高齢化	
会社文化	働き方改革	    
	多様な人材雇用	
	従業員教育・管理	
	コンプライアンス	

#### ■ 当社グループのサステナビリティに関する取り組みについて

<https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/>